

どう使われたか、私たちの130億9千万円 議員が総点検

歳入

問 27年度口座振替などの環境整備によって税金の収納率が上がっているが、その内訳は。

税務課長 コンビニエンスストアでの納付が9,000万円、口座振替での納付が2,200万円増加した。

問 27年度、60名、約300万円が他自治体にかかるさと納税として寄付されたが、町への影響は。

税務課長 町の税収が117万円減少した。

福祉

問 心身障害者（児）福祉センターあゆみの新しい指定管理者への移行に不安の声があったが。

福祉課長 保護者会を実施するなど利用者の声を聞くことを進め、スムーズに移行できた。嘱託員、臨時職員もほとんどの方に継続していただいている。

問 27年10月から始めた、子育てモバイルサービス「子育てナビ ワクワクみずほ」の成果は。

健康課長 27年度末までの登録者数が321人、アクセス数は約30,000回あった。導入前は、ほぼ毎日あった予防接種の問い合わせが、月2〜3回程度に減少し、効果があったものとする。

教育

問 27年度、新規事業として始めたフューチャースクールの成果は。

指導課長 瑞中では112人、二中では109人が参加した。「少し成績が上がってきた」「家庭学習時間が増えた」などの声があった。

行政サービス

問 28年1月から個人カード（マイナンバーカード）交付事業が開始されたが、その状況は。

住民課長 システムの不具合が発生し、全国的に作業が遅れた。町では、27年度末で、申請者数約2,500名、受領者数約1,900名で、交付者が450名となった。

問 けやき館の夜間の利用が少ないようだが、検討したのか。

図書館長 夜間だからこそ来れる方もいる。つるし雛の展示などは朝から夜まで多くの方が来館された。夜間開館している資料館はあまりないので、そこをPRポイントとしていける取り組みを今後も検討したい。

産業・観光

問 産業見本市等出展支援事業補助金50万円が支出されたが、その効果は。

産業課長 東京ビックサイトに6事業者が出展した。出展企業からは、自社の製品や技術などを幅広く周知することができ、問い合わせやWeb検索が増えたなどの報告があり、効果があったと考える。

問 さやま花多来里の郷整備事業での成果は。

建設課長 26年度が1万839人、27年度は1万5,085人と、リニューアル後はより多くの方に来ていただいた。アンケート調査でも好評であった。



新たに観賞デッキなどが設置された狭山花多来里の郷

行政改革

問 健康診査などの委託料において、医師会との単価契約の見直しは図られたか。

健康課長 26年度から0.1円引き下げ、11.0円とした。効果として、予防接種、大腸がん検診などで総額27万8,444円が削減された。



図書館に新たに設置されたキッズコーナー

安全・安心

問 地域見守りマップ保守委託料に約140万円投入したが、その成果は。

高齢課長 システムの中に土砂災害警戒区域のデータを取り込んだ。高齢者の要援護者を住宅地図上でわかるようにした。高齢者の要援護者の対象者3,490名のうち希望された955名の登録を行った。

問 防災行政無線について、27年度、改善、検討された点はあったか。

地域課長 防災行政無線のデジタル化に向けた検討を開始した。また、防災行政無線の電話応答サービスは広報への掲載や高齢者世帯への番号シールの配布などを行い、前年度より利用者が約1,500名増加した。



子ども商品券と一時預かり利用助成金